

		評価基準 5:十分達成(100%) 4:概ね達成(80%程度) 3:変化の兆し(60%程度) 2:やや不十分(40%程度) 1:不十分・目標、方策の見直し						
領域	R6評価項目	R6目標・方策等	取組みの成果	項目別評価	総合評価	取組みへの意見	対策	学校関係者評価
キャリア支援部	進学指導の充実	・新課程入試、総合型選抜・推薦入試の対策指導を研修する。 ・学年と連携して、模擬試験、進学補習を計画する。 ・3年生に対する進学指導の日程・内容等を教職員に情報共有し、校内協力体制を整える	・新課程入試、総合型選抜・推薦入試の対策指導として7月に職員研修会を実施することができた。 ・学年と連携し、定期的な模擬試験の実施、長期休業中の進学補習を実施することができた。 ・3年生に対する進学指導について、放課後に進学補習の継続実施と面接指導に協力をいただいた。	4.5	4.5	○3学年回と密に協議している様子があり良かった。 ●個人的に面接指導など入り良かった。 ○校内協力体制が整い、生徒、教員ともに進路実現に向けての動きがとりやすくなっていると感じる。		・入試制度等が大きく変化する過渡期に「校内協力体制が整い」という表記があることは、生徒にとっても家庭にとってもありがたいことだと思う。
	就職指導の充実	・2年生就職志望生に就業体験を実施する。 ・PTAに講師を依頼して、3年生就職志望者に面接試験指導を行う。 ・3年生に対する就職指導の日程・内容等を教職員に情報共有し、校内協力体制を整える	・2年生の夏季休業中就業体験を実施できた。就職希望者だけでなく進路希望者も積極的に参加した。・PTA役員や地元事業所の方に講師を依頼し、8月に3年生就職志望者を対象に模擬面接の指導をいただいた。・3年生に対する就職指導について、学年・キャリア以外の方にも面接指導の協力をいただくことができた。	4.4	4.4	○3年生進路決定者のキャリアアップ体験は非常に良かった。 ○PTAの模擬面接や他の教員にも面接指導をする機会が出来、良かった。 ○就業体験にたくさん参加し、意識を高めたと思う。目録などの提出物がなかなか揃わず、申し訳ありませんでした。 ●あまりお手伝いできませんでした。すみません。 ○学校全体で、また、全学年で進路実現に向けてのキャリア教育が行われている。 ○夏季休業中の就業体験ありがとうございました。就職希望の生徒の進路意識が高まったと思います。	・進路を考える機会として就業体験を夏季に限らず冬季、春季休業中にも実施できないか検討したい。	・キャリアアップ体験は、受け入れ側からも前向きな評価が聞かされた。社会にスムーズに繋げるこの取組はとても素晴らしいと思う。
	3年間を見通した進路指導	・ホームルームの年間計画において進路指導ホームルームを計画的に設定する。 ・上級学校、企業の情報提供等により、各学年の進路指導を支援する。	・学年団に依頼し、定期的な進路ガイダンス、模擬試験、公務員講座などを実施できた。また、2年生に対して来年度に向けて進路指導LHRを6時間実施することができた。 ・上級学校の入試情報や企業からの情報等を積極的に共有した。	4.4	4.4	●進路ガイダンス等は学年の要望を聞いて、進路指導部で一括して行った方がよいのではないかと感じました。 ○どの学年も進路に関する取組みが充実して活動しているように感じる。 ●3年生の面接指導について、もう少し他学年、他部署の先生方に割り振ってもよいのではないかと感じました。特に2学年団には1年後の進路指導を見据えて、少しでも面接練習を経験すれば、来年度によりスムーズに指導しやすくなるのではないかと感じました。 ●進路指導が学年に託されているところが充実した指導が行えているのが不安なので、学校として進路指導の大きな枠組みがあればよい。2学年の時点で進路検討会に参加できたことは意義があった。 ○進路検討会に2学年も参加させていただいたおかげで来年度の指導に活かせると思いました。ありがとうございました。進路HRや先輩方が語る会などありがとうございました。	・年度当初に進路指導に関する大まかなスケジュールを学年団にお渡しすることとどまっているのが現状である。 3学年への支援を手厚くしている分、1、2学年の進路指導を学年に任せているが、キャリア支援部の人数も限られているため、部署の人数を増やすか、引き続き学年団にご負担をおかけする形でお願いしたい。	・浜坂高校の特色として、生徒の幅広い進路にきめ細かに対応し、それぞれの分野で結果も出ていることだと思う。 ・今年度に取り組まれた卒業生によるワークショップが、ある程度組織化され、オンライン相談会みたいな形になると教員側の負担軽減とともに、生徒にとっても進路の明確化につながる感じがする。
	連携型中高一貫校に向けた新しい学校としての教育課程について検討する。	・教育課程委員会を年3回実施し、教育課程について独自の教科科目として、学校設定教科科目について考え、魅力ある教育課程の実現を目指す。	・教育課程委員会を4回実施し、新しい教育課程について検討することができた。 ・来年度から新しく実施予定の学校設定教科「浜高ラボ」について、また学校設定科目である「ベーシックスキル」「クエストI」について具体的な内容を考え、実施に向けて準備することができた。	3.9	3.9	○どこに書けば良いかわからなかったのをごらんに書かせていただきますが、2学年で実施されている、チャイム前の時間厳守行動ですが、ノーチャイムにしてはどうかと思えます。新温泉町立中学校は2校ともノーチャイムを実施しています。教員側が慣れるまで時間がかかるかも知れませんが、連続授業でチャイムを消すなどの必要がなくなり、そのときの他の学年もそれぞれに対応できるのでないかと思えます。 ●協議されている内容が全職員で共有できれば良いと思う。 ●ベーシックスキルやクエストIの全容が見えず不安です。ベーシックスキル:授業内容(スタサプ)の評価の仕方…。クエストI:総探とのすみ分け…。 ●来年度からの教育課程について、イメージが浮かばない。	・チャイムに関してキャリア支援部だけでは決められないので、今後全教職員で検討したい。 ・ベーシックスキルやクエストIなど連携型中高一貫校での特色ある科目は連携型中高一貫校の担当者に委ねている。	・教員も主体的に関わり浜高の新時代の教育課程を考えていただいていることは本当にありがたいので、今後全教職員で検討したい。 ・現在のプロセスも大事だが、キャリアサポートなども活用し、どのような過程を踏むと、どのような自己実現につながるのかファイリングや掲示ができるようにしたい。
	連携型中高一貫校に向けて新しい学校としての評価や進級に関する規程を見直す。	・キャリア支援部を定期的に開き、現規定の妥当性について考え、研修会等で議論する。	・キャリア支援部を6回実施し、現規定の妥当性について考え、複数の規定の変更について職員会議で提案し、変更するに至った。	4.4	4.4			・浜坂高校には、力のある大学の先生も関わっておられるので、評価方法等についてもアドバイスをもらおうと思う。
総合的な探究の時間、グローバルキャリア型活動の充実。	・1年生のグローバルキャリア型において、鳥取大学留学生交流を年2回実施する。 ・2年生のグローバルキャリア型において、台湾姉妹校とのオンライン交流を年4回実施する。 ・2年生の総合探究において、各班で地域等の外部機関と連携を行い、インタビュー等でご協力いただくことができた。 ・学習発表会「浜高ラボ」を校外で実施し、地域の方にも積極的に参観してもらおう。	・1年生のグローバルキャリア型において、鳥取大学留学生交流を7月と10月に実施することができた。 ・2年生のグローバルキャリア型において、台湾姉妹校とのオンライン交流を4回実施した。 ・2年生の総合探究において、各班で地域等の外部機関と連携を行い、インタビュー等でご協力いただくことができた。 ・学習発表会「浜高ラボ」を浜坂多目的集会室で実施し、地域の方にも参観いただくことができた。	4.3	4.3	●総合探究やグローバルの地域や外部との連携は充実しており、継続してほしい。浜高ラボなどを活用し、地域の人にもっと知れぬ方がよいと思う。 ○グローバル型探究学習では、計画・外部との連絡・情報共有など、様々な面で助けていただきました。ありがとうございました。 ○今年度行った外部との連携が次年度以降も続けたい、と思います。次に引き継ぐ探究テーマ等があるのか?1年で探究完了しているのか? ○各学年の総合探究の中心をキャリア支援部が担い、各学年の探究活動を充実させた。 ●10月の交流会は天候に恵まれず、話す機会が少なくなってしまったので工夫が必要になると思います。 ○地域のの方々に関わる機会を多く設定していただき、時間割をはじめ皆さんのご負担があったと思いますが、そのお陰で充実した探究活動になりました。ありがとうございました。 ○総合探究の授業計画など学年と密に連携を取りながら行ってもらえたのでとてもスムーズに探究することができました。ありがとうございました。 ○探究の授業で多くの大人と関わる機会を設けてくださったので充実した探究活動になった。	・湯村の散策でも雨天を想定した活動を検討する。 ・総合探究における探究テーマは、生徒の興味関心をベースに設定したい。そのため、教員側から昨年度のテーマを次年度に引き継がせるのは想定していない。生徒から昨年度のものを引き継ぎたいという声も出てきた。また、内容についても、更に深掘り出来る事、関連した内容など1年かけて学習を単発で終わらせるのではなく、深めていく方針を取られた方が、進路にも影響すると感じます。 過去に探究した学習から、1年生が興味を持ったものを深掘りするシステムも良いかと思えます。	・留学生や台湾の中高生との交流は、当初の想定以上に効果が高いと思う。異なる言語、文化、習慣の中で協力的に行動するための手法や考え方を学ぶことも、新時代への新たな価値観を見出す場になっていると感じた。 ・浜高ラボは、浜坂多目的集会施設で行うほうがベターな気がする。関係する職員も参加しやすく、次年度も活用したい。私個人としての見解は、探究活動は出来る限り2年かけてほしいと思う。内容についても、更に深掘り出来る事、関連した内容など1年かけて学習を単発で終わらせるのではなく、深めていく方針を取られた方が、進路にも影響すると感じます。 過去に探究した学習から、1年生が興味を持ったものを深掘りするシステムも良いかと思えます。	
規律重視の生活習慣の確立を図り、達成感と自己有用感を育み、公共の精神や協調性を身につける。	・日々の学校生活での挨拶の励行・清掃活動などを徹底し、手帳やアプリを活用して自己管理能力を身に付けさせる。 ・学校行事など体験を通して、達成感・成就感を味わう中で共生心を育み、社会人として地域の未来に貢献する意識を身につけさせる。	・日々の生活で、挨拶や清掃活動は順々できた。進路を意識した生活の中で、手帳またはアプリを活用し、スケジュール管理ができる生徒が増えた。 ・高校生活最後となる学校行事では、それぞれをしっかり楽しみ、盛り上げ、学年が丸となり、取り組むことができた。キャリアアップ体験で、地域の様々な仕事を体験することで、地域社会への貢献意識を高めた。	4.4	4.4	○生徒が生き生きと過ごしていた。また委員会の仕事なども一生懸命にいた。 ○学校行事では大きなエネルギーを出すことができ、3年生のお陰で学校が盛り上がった。 ○学校を引っ張る最高学年としてどの行事も意欲的に取り組んでいたように感じます。ありがとうございました。	スケジュール管理の必要性が3年生になって初めてわかるという現状であり、1年生より徹底できる工夫が必要である。	・3年生の項目別評価が高い、年度ごとの学年の雰囲気もあると思うが、意見のように学校を盛り上げる姿勢は、地域を盛り上げる姿勢としても埋間見ることができた。	
授業や補習に集中する態度を育成し、確かな学力を身につけさせる。自学自習の姿勢を育て、家庭学習の習慣化を図る。	・日々の授業と補習を通して、思考力、判断力、表現力を身につけ、さらに応用させる確かな学力を養う。 ・週末課題やスタディサプリの活用で、基礎学力と家庭学習の習慣化を図り、自ら学び続ける意欲を育む。 ・教科担当と連携し、授業に集中する態度を育成するとともに、個に応じた課題を克服する学力を身につけさせる。	・日々の授業、放課後または長期休業中の補習に積極的に取り組み、着実に学力を高めた。 ・日々の学習だけでなく、受験勉強対策としてスタディサプリの動画学習を積極的に活用した生徒もいた。 ・成績向上に向けて意識が高まり、日々の提出物や定期テストに取り組み姿勢に変化が見られた。その結果、追認審査なしで、全員の卒業認定がされた。	4.4	4.4	○進路指導部と密に連携している姿が見られた。	学習面においても、3年生になって初めて重要性に気づき、慌て始める生徒が多いので、1、2年生より取り組める環境作りが大切である。	・追認審査なしで全員の卒業認定がされたことは素晴らしいことである。 ・進路の実現のために、モデルケースを学校全体で共有し、2年生より取り組める環境作りが大切である。	
主体的に進路について取り組みを育成する。高い志に向けて粘り強く挑戦し、個に応じた進路実現を目指す。	・安易な進路決定をしないため、総合的な探究の時間や実力テスト、補習等を有効に活用し、個別面談を通して個に応じた高い進路目標を目指す。 ・オープンキャンパスを有効に活用し、進路指導部とも連携を取り、自主的な進路情報の収集を図る。 ・第一志望決定率90%以上を目指す。	・進路指導部と協力し、個人面談、三者面談を通して、個々の実力に応じた進路指導ができた。 ・それぞれの進路に向けた情報収集をする中で、進路指導部と連携し、個に応じた面接指導や受験指導に対応した。 ・第一志望決定率は、進学、就職を合わせて85.4%であった。	4.4	4.4	○進路指導部と密に連携している姿が見られた。	進路指導部と密に連携している姿が見られた。	・国立大合格者で、地域課題課題に取り組むとつくる進路実現ができるように早期のアプローチを展開していきたい。また、昨年度の3年生を見習って面接指導、朝礼進路検討や体調管理の徹底など行ってほしい。	
基本的な生活習慣と基礎的な学習習慣の確立	・読書やスタディサプ利用するなど朝のSHRの学習を毎日行う。 ・授業開始のチャイムが鳴る1分前には着席させ時間を守ることを意識付け、1日の始まりにメリハリをつける生活習慣を整える。	・朝のSHRでは月曜日読書、火・木曜日スタディサプで学習、水曜日読書トレーニング、金曜日BINEを実施することができた。 ・年度初めは意識づけできており、遠足や修学旅行では時間通りに行動することができた。しかし、年度の終わりにかけて遅刻者が増えつつある。メリハリのある生活ができていない生徒が大半だが個々で指導が必要である。	4.1	4.1	OSHRで学習活用など、生徒のことを考えいろいろ取り組んでいた。 ○朝のSHRの活動が定着しつつあり、成果を感じている。スタディサプ学習についてはタブレット忘れ等もあり徹底できていないが、各々学習に取り組むことはできている。 OSHRの時間をしっかり使うことができ、身についたことが多く感じている。	SHRの時間を毎日活用できているが、次年度より進路実現に向けての学習や行動ができるように指導していきたい。	・スタディサプ学習は、浜高支援協議会の支援も関係しているため、効果的な学びの事例を広く発信すること、幅広い支援者に支援の継続を求めやすくなると思う。	
高い志と広い視野で将来を見据えた進路検討ができる資質を育成する	・進路行事を年3回以上実施する。 ・就職希望者に対して3日間の就業体験を実施する。 ・他学年や他校と連携し、知見を広める中で自己を見つめ、自分に合った進路を検討し具体化する。	・進路行事を5回実施し少しずつ進路実現に対して意識が高まっていると感じる。 ・就業体験を実施し、事後ではその成果をまとめたポスターを作成することができた。 ・出石高校と合同で進学相談会を実施し多くの進路先について知ることができた。 ・1学年と合同で講演会・進学相談会実施した。 ・担任・学年主任による進路面談を実施している。	4.5	4.3	○進路に向けて様々な取り組みを計画しており良かった。	教員の進路指導に関するスキルアップを前提に一人一人の進路実現ができるように早期のアプローチを展開していきたい。また、昨年度の3年生を見習って面接指導、朝礼進路検討や体調管理の徹底など行ってほしい。	・他校との進学相談会は有効であると思う。オンラインでの交流や、タブレットの有効活用の共有など、工夫した取組を生徒側から提案させてほしいと思う。	
自己有用感の醸成と人間性の涵養	・日々の活動や行事のなかで委員会や係など必ず一人一つの役割を与え、責任をもつて取り組むことにより自己有用感を醸成する。 ・学年連催や集会において心を成長させる話題の提供を行うことで人間性の涵養を目指す。	・一人ひとりに委員会や係を割り当て、その責任を果すことができた。 ・学年連催や集会において様々な話題の提供を行うことで人間性の涵養を促すことができた。 ・大人や地域と関わる機会を設けることで、社会を知り、自己の役割や責任について考えるきっかけを作ることができた。	4.4	4.4	○個の持つ特性など幅広い生徒に応じて、丁寧に対応している。	最高学年として、また成人、社会人を見据えた人間性を高める指導を継続できればと思う。	・様々な場面で顔が見える関係があり、直接感謝を伝えてもらえる環境は、大規模校では難しい。小規模のメリットを生かして自己有用感を確実に蓄積させてあげてほしい。	
基礎的な生活習慣の確立	・手帳やスマホを利用して、自己管理やスケジュール管理を徹底する。 ・欠席・遅刻・早退を減らす。 ・校内ルールを遵守する。	・BYOD端末の使用について指導した。手帳やスマホを利用して自己管理やスケジュール管理することの指導を継続している。 ・理由のある長期欠席の生徒が数名いたものの、前半は全体的には非常に遅刻欠席が少なく、前向きに学校生活に取り組んでいたが、2学期ごろから、保健室利用者が徐々に増えてきており、3学期になると、決まった遅刻者も数名出てきた。 ・スマホ、タブレットの使用についてはルールを全体で伝えていったり、違反者は減ってきた。化粧・服装について個別指導することがあった。	3.8	3.8	●朝SHRでの学習は行っていませんが、考慮する必要があると思います。遅刻者が多いので、意識付けをします。 ●遅刻は多いです。1学期はスマホの違反が多かったので、2学期以降減らすようにルールの徹底を伝えました。	遅刻に対しての指導を徹底していく。校内でのルールを理解していないことがある。校内ルールの確認の徹底をぜひお願いしたい。理由を一度だけ聞くと、複数回にわたって指導していく必要がある。	・端末を活用し、スケジュール管理を主体的にさせていく試みは期待できる。ToDoリストや、学校行事の全体入力など、今まで一人でスケジュール管理が難しかったり、見通しが持ちにくかったりした生徒にとっては、とてもありがたいツールになる可能性がある。	
基礎的・基本的な学習習慣の確立と定着。広い視野で将来を見据え、進路検討をしていく	・スタディサプ利用した課題の設定、夏季休業や考査前に補習を実施し基礎的・基本的な学習習慣を確立する。 ・4回以上進路行事を実施し自分の進路検討に興味関心を持たせる。	・スタディサプを活用し、週末課題、長期休業中の課題提出など行うことができた。しかし、まだ活用できる機会が多くあり、生徒により活用状況に差がある。補習は多くの先生に関わっていただき手厚く実施できており、学習に対して努力する意識を持つことができた。 ・全員を対象に進路行事を8回実施することができた。進路の検討の仕方について、進路指導部と連携して指導することができた。	4.3	4.3	●長期課題でスタサプを利用しましたが、頻度はまだ少ないので活用の場面を増やします。個人面談があまりできなかった。2年生以降は進路に関する面談を増やします。	スタディサプが家庭学習習慣にどういったように働くかを試している状態です。配信者側はあくまで、答えが選択できず、どこまでがつかの今後の経過を見ていきたい。	・中学校で3年間タブレットを活用した生徒が入学するようになってから、タブレット学習の成果と課題を中高で共有する場があってもいいと思う。もちろん、家庭学習の様子も共有なども。	
周囲のために行動できる共生心と思いやりある人間性の育成	・さまざまな行事や体験を通して、達成感・成就感を味わい、自信をもって社会に貢献できる姿勢と地域創成への意識を身につける。	・新入生宿泊研修やコミュニケーションワークショップ(3回)を通し、自分のことを相手に伝えること、知ってもらうことの大切さや相手を知ることの重要性などを学ぶことができた。 ・体育祭や文化祭、マラソン大会などの学校行事では楽しさを追求しながらも達成感を味わうことができた。 ・グローバルキャリア型探究のフィールドワークでは、地域を学ぶことができ、地域の未来を考えることができた。	4.4	4.4	○宿泊研修やコミュニケーションワークショップなど、非言語コミュニケーションをしっかりと学べていると思います。	SNSなどの情報過多の時代にコミュニケーションの取り方が一段と難しくなっており、そのようなものとの付き合いが、考え方を学ぶ場を増やしていきたい。	・「地域の未来を考えることができた」の表記は、非常にありがたい。課題は多い町であるが、人の温かさに触れ、地域が丸となり、この町でよかった、この学校でよかったと思える生徒を育てたい。	